

参考

県内公共交通のあり方検討会の開催経緯

回数		開催日	討議テーマ
平成 28 年度	第1回	H28.10.28	<ul style="list-style-type: none"> ・県内公共交通に係る調査状況について ・県内公共交通に係る課題整理と対応方針の検討について
	第2回	H28.12.21	<ul style="list-style-type: none"> ・県内の地域特性及び交通特性と県内自治体等調査について ・本県の地域公共交通の課題と解決の方向性について ・モデル地域、先進事例について
	第3回	H29.2.10	<ul style="list-style-type: none"> ・モデル地域の検討内容について ・県内公共交通のあり方について
平成 29 年度	第1回	H29.9.7	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度検討会の進め方について ・追加のデータ調査について ・モデル地域（3地域）の進捗について
	第2回	H30.2.15	<ul style="list-style-type: none"> ・モデル地域（3地域）の検討について ・地域公共交通の活性化方策について

モデル地域における検討会の開催経緯

回数	地域	開催日	討議テーマ
平成 28 年度	秩父 東松山 八潮	H29.1.24 H29.1.25 H29.1.27	<ul style="list-style-type: none"> ・モデル地域における公共交通の現状・取組状況 ・モデル地域における公共交通の課題整理等
平成 29 年度	秩父 東松山 八潮	H29.7.27 H29.8.8 H29.8.9	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度検討会の進め方について ・公共交通の活性化方策について ・モデル地域におけるアンケート調査の実施等について
	秩父 東松山 八潮	H29.10.16 H29.10.27 H29.11.14	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通の活性化に向けた具体的な方策について
	秩父 東松山 八潮	H30.1.17 H30.1.10 H30.1.16	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な方策に係る実現性の検討について

県内公共交通のあり方検討会委員名簿

所属・職名	氏名
埼玉大学大学院理工学研究科 教授	久保田 尚
流通経済大学経済学部 教授	板谷 和也
東武バス株式会社 取締役運輸部長	金井 応季
西武バス株式会社 取締役運輸計画部長	山内 智矢
国際興業株式会社 運輸事業部担当部長	木部 康久
東日本旅客鉄道株式会社 大宮支社総務部企画室長	丸山 信博
東武鉄道株式会社 鉄道事業本部計画管理部長	衣川 裕司 (高野 寿久)
西武鉄道株式会社 取締役上席執行役員鉄道本部計画管理部長 (執行役員鉄道本部計画管理部長)	福田 正明 (松本 康一郎)
秩父鉄道株式会社 取締役執行役員鉄道部長	高柳 功
一般社団法人埼玉県バス協会 専務理事	鶴岡 洋
一般社団法人埼玉県乗用自動車協会 専務理事	高原 昭
国土交通省 関東運輸局交通政策部交通企画課長	鳥居 裕輔 (牧田 聡二)
国土交通省 関東運輸局埼玉運輸支局次長	久米 正夫
さいたま市 都市局都市計画部交通政策課長	小島 義則 (中村 幸司)
秩父市 市民部市民生活課長	江田 直人 (町田 秀夫)
東松山市 市民生活部地域支援課長 (小川町 都市政策課長)	今井 達雄 (大野 義行)
八潮市 生活安全部副部長兼交通防犯課長	中西 恵一
埼玉県 企画財政部地域政策局長	山崎 明弘 (土田 保浩)
埼玉県 福祉部福祉政策課長	真砂 和敏
埼玉県 産業労働部観光課長	浅見 健二郎
埼玉県 県土整備部道路政策課長	福島 英雄 (中村 一之)
埼玉県 都市整備部都市計画課長	吉岡 博之

事務局

所属・職名	氏名
埼玉県 企画財政部参事兼交通政策課長	竹島 晃
〃 交通政策課副課長	須賀 智 (嶋田 浩)
〃 主幹	能勢 一幸
〃 主幹	中山 成
〃 主幹	出井 正美
〃 主査	畦地 英樹
〃 主査	平野 由紀
〃 主査	佐藤 美香

※ () は前任者又は平成28年度の委員

モデル地域における検討会の出席団体

(秩父地域)

西武観光バス(株)	西武鉄道(株)	秩父鉄道(株)
秩父タクシー協会	(一社)秩父地域 おもてなし観光公社	国土交通省関東運輸局 埼玉運輸支局
秩父市 市民部市民生活課	秩父市 産業観光部観光課	横瀬町 まち経営課
横瀬町 振興課	皆野町 総務課	皆野町 産業観光課
長瀬町 企画財政課	長瀬町 産業観光課	小鹿野町 総合政策課
小鹿野町 おもてなし課	埼玉県 秩父地域振興センター	

(東松山地域)

川越観光自動車(株)	東武鉄道(株)	国土交通省関東運輸局 埼玉運輸支局
東松山市 市民生活部地域支援課	東松山市 政策財政部政策推進課	吉見町 政策財政課
鳩山町 政策財政課	埼玉県 川越比企地域振興セン ター東松山事務所	

(八潮地域)

東武バス(株)	東武バスセントラル(株)	東武鉄道(株)
国土交通省関東運輸局 埼玉運輸支局	草加市 市民生活部交通対策課	八潮市 生活安全部交通防犯課
三郷市 環境安全部交通防犯課	埼玉県 東部地域振興センター	

調査協力機関 セントラルコンサルタント(株)

用語集

【あ行】

ICカード

PASMO や Suica など、鉄道や路線バス、タクシーなどの運賃の支払いとして利用できるIC（集積回路）が組み込まれたカード。

NFCタグ

NFC（Near Field Communication）は近距離通信の名前が示すとおり、通信距離は10cm程度に限定され、その最も特徴的な機能は「かざす」だけで簡単にデータ通信が可能なシステム。

【か行】

QRコード

白と黒の格子状のパターンで情報を表し、携帯電話などのデジタルカメラで読み取ることで、複雑な文字入力をすることなく情報を取り込むことが可能な2次元コード。

公共交通空白地域

鉄道やバスなどの公共交通を利用することが困難なエリアのこと。本調査では、鉄道駅から半径1km、バス停から半径300mの範囲外のエリア。

【さ行】

サイクルアンドバスライド

自宅から自転車でバス停やバスターミナル等まで行き、そこからはバスを利用して目的地へ向かうこと。

シームレス

継ぎ目のないという意味で、公共交通機関の接続や乗り継ぎが円滑にできるような仕組み。

ゾーンバスシステム

多方面から路線バスの系統が集まる地点にターミナル等の拠点を設け、拠点から都心までの間を「幹線」とし、拠点から周辺地域への路線を「支線」として、幹線と支線を乗り継ぐシステム。定時制の確保と車両の効率的運用を図ることができる。

【た行】

代表交通手段

移動時にいくつかの交通手段を乗り換えた場合、その中の主な交通手段を代表交通手段という。東京都市圏パーソントリップ調査では、交通手段集計上の優先順位は、鉄道、バス、自動車、二輪車、徒歩の順としている。

地域公共交通会議

道路運送法により、地域の実情に応じた輸送サービスの実現に必要な事項を協議する場として位置づけられた会議。地域の実情に応じた適切な乗合旅客運送の態様及び運賃・料金等に関する事項、自家用有償旅客運送の必要性及び旅客から収受する対価に関する事項等を協議する。

また、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律に基づき、地域の交通計画の策定等を行うための協議会もある。

昼間人口

当該市町村の夜間人口に当該市町村への流入人口と当該市町村からの流出口を加減して算出した人口。

※国勢調査では従業地・通学地集計の結果を用いて昼間人口を算出するため、夜間勤務をしている人や夜間学校に通っている人は便宜上昼間人口に含んでおり、買物客等の非定期的な移動は考慮していない。

デジタルサイネージ

屋外・店頭・公共空間・交通機関等の場所で、ディスプレイなどの電子的な表示機器を使って情報を発信するシステム。

鉄道駅端末交通手段

出発地から鉄道駅（または、鉄道駅から目的地）までに利用した交通手段のこと。

鉄道密度

単位面積あたりの鉄道延長。本調査では、市町村面積（km²）あたりの市町村内鉄道延長（km）を示す。

東京都市圏パーソントリップ調査

パーソントリップ調査は、「どのような人が」「どのような目的で」「どこからどこへ」「どのような交通手段で」移動したかなどを調べるもので、東京都市圏では、10年ごとに実施されており、平成20年に第5回調査が行われている。

トラベルフィードバック

トラベルフィードバックプログラム(TFP)は、自動車利用から公共交通機関への転換を目指して、人々の行動に影響を与える心理要因に働きかけ、自発的な行動の変化を目的とする交通需要マネジメントの一手法のこと。

トリップ

ある目的をもって、人がある地点から他の地点へ移動すること。移動の単位であり、1回の移動でいくつかの交通手段を乗り換えても1トリップと数える。

【は行】

バスロケーションシステム

GPS (Global Positioning System : 全地球測位システム) を用いて運行中のバスの位置情報を収集し、バスの現在位置、運行状況、遅れ等の情報をリアルタイムに提供するシステム。

ハブ&スポーク方式

中心地にハブバス停等を設け、それを自転車のハブに見立て周辺地域に向けてバス路線を放射状に延ばす方式。長大な路線を短縮化し、車両を増やすことなく運行頻度を増やすことができる。

バリアフリー

高齢者、障害者等が社会生活に参加していく上での物理的・社会的・制度的・心理的・情動的なすべてのバリア（障壁）を除去するという考え方。公共交通においては、高齢者、障害者等が円滑に公共交通を利用できるようにすること。

BRT

BRT (Bus Rapid Transit) は連節バス、PTPS (公共車両優先システム)、バス専用道、バスレーン等を組み合わせることで、速達性・定時性の確保や輸送能力の増大が可能となる高次の機能を備えたバスシステム。

PDCAサイクル

Plan (計画)、Do (実行)、Check (評価)、Action (改善) を繰り返すことで、業務を継続的に改善していく手法。

PTPS

PTPS (public transportation priority systems) はバスなどの優先通行システムをいう。優先信号制御や優先レーンの設定により、バスなどの公共車両を優先的に運行させるシステム。

【ま行】

モビリティマネジメント

一人ひとりのモビリティ（移動）が社会にも個人にも望ましい方向（過度な自動車利用から公共交通等を適切に利用する等）に変化することを促す取組。

【や行】

夜間人口

夜間に常住する人口。

UDタクシー

ユニバーサルデザインタクシーのことで健康な方はもちろんのこと、足腰の弱い高齢者、車いす使用者、ベビーカー利用の親子連れ、妊娠中の方など、誰もが利用しやすいタクシー車両。乗降用手すりやステップ、車いす乗降口やスロープ等を装備している。

ユニバーサルデザイン

障害の有無、年齢、性別、人種等にかかわらず、すべての人にとって使いやすいようにはじめから意図してつくられた製品・情報・環境のデザインのこと。

4次メッシュ

標準地域メッシュ（国が地域の統計に用いるため緯度経度に基づき地域を隙間なく網の目（メッシュ）に分けたもの）のひとつで、1辺が500mの大きさの区域。

【ら行】

連節バス

連節バスとは、大量輸送のために車体が2つ以上つながっているバスであり、連節部分は幌でつながっている。

路線バス密度

単位面積あたりの路線バス延長。本調査では、市町村面積（km²）あたりの市町村内路線バス延長（km）を示す。

【わ行】

ワークショップ

参加者自らが積極的な意見交換や協働体験を通じて、実践的な知識・技術を学びとる参加体験型のグループ学習。まちづくりなどのコミュニティ活動における問題解決や合意形成の場として活用されることが多い。